

講演会 いわき総合図書館企画展記念 新島襄が見た「いわき」

江戸時代末の元治元（1864）年3月、新島襄（1843～1890年）はアメリカへの密航を志し、函館に向かう途中、いわきの地を訪れています。坂下門の事件の2年後で戊辰戦争の4年前のいわきの状況と新島襄の目にどのように映ったかを2回に分けて紹介します。内容は1回目が中ノ作港、関伽井嶽薬師の龍燈伝説。2回目が平城と人柱、いわきの物産品。



新島襄肖像画(同志社大学所蔵資料)

日時

1回目 2月 9日(木)

2回目 2月14日(火)

午後6時30分～午後8時

会場

いわき総合図書館 4階学習室

講師

夏井 芳徳 (いわき総合図書館長)

募集人数

40名(高校生以上で全2回参加できる方)

申込受付 1月17日(火) 10:00から

申込書に必要事項を記入し、各図書館カウンターにお持ち下さい。
受付時間は図書館の開館時間内です。

電話による受付は総合図書館のみで行います。

☎0246-22-5552

入場無料

※お申込みが
必要です



きりとり

講演会「新島襄が見た『いわき』」申込書

氏名 _____ 年代 _____ 代 _____ 性別 男・女

連絡先 ☎ _____

※受付者記入欄 総・小・勿・常・内・四 月 日 時 分 受付

主催：いわき総合図書館